

# 夢に向かって

自分の好きなことを仕事に——

野田 <sup>えいき</sup> 盈輝 さん (県北中3年)

私の将来の夢は、動物に関わる仕事に就くことです。

私は、子どもの頃から動物が大好きで、以前はウサギを飼っていたことがありました。犬を飼ってみたいのですが、なかなか自宅では飼うことができないので残念です。最近、動物に関わる人たちの話が載った本を読み、とても感動しました。このこともあって、動物に対する思いが一段と強くなりました。インターネットや本などで、動物に関する情報を集めて、自分なりに知識を深めています。もっとたくさんの知識を身に付けて、将来に役立てたいと思っています。

将来、動物関係の仕事に就くことができたなら動物のことを1番に考えて、動物が快適に生活できるような環境を整えてあげたいです。また、常にいろいろな事にチャレンジして、努力する事を忘れず、自分を高められるような大人になりたいです。将来の事を考え、行動できるように頑張りたいと思います。



卓球部の部長を務めていた野田盈輝さん。「飼うなら絶対に犬です!」と満面の笑顔で答える姿も。インタビューでは、野田さんの動物に対する、優しい心遣いを感じることができました。

町長  
コラム



ま  
真 ころむ

【第15回】

## てるてる坊主と当たらない天気予報

義経まつり前日。テレビ放送を終えて帰宅。スマホを見るとメール。「今、テレビ見ってます。明日は雨? てるてる坊主、下げておきます」と。家の電話も留守電を知らせてる。電話すると「明日、天気だと良いねえ。あの天気予報士、当たらないから」と。う〜ん。予報士は「明日は雨」と言うし、放送内容の一部は町が推してたものではなかったし…。「何だかなあ…」とモヤモヤ。そんな時だったから「てるてる坊主、下げとく」と「あの人、当たらないから」はうれしかった。

当日。開祭のあいさつしながら特設ステージから会場を見て思う。「人、いるなあ。天気、持ちそうかな?」と。そして、産業祭やフードフェスタの担当をしていたとき、雨に祟られることがあったけど、出店してる人たちが口々に「国見は雨でも不思議と人が集まる町なんだよな」と話してたことを思い出す。

3年ぶりの義経まつりが、賑やかなダンスで幕を降ろす。雨は降らなかった。無事に終えられた理由、それは天気と併せ、実行委員会、商工会、出店者、町職員の一所懸命、警察、消防、協力団体の支えのほかに、てるてる坊主を作ってくれたり、天気を祈ったりしてくれる人たちがいたから。全てに感謝。そしてまた来年。



引 地 真